で教芸神楽化の

電空額入催一千萬國に比し は大僅四百萬國にして本年度 は大僅四百萬國にして本年度

本が今後の各省復活要求及ひ災 するとこれは未だ必ずしも業 限を許されない、即ち藤非巌 根は今後の復活要求及ひ災害 で復福に伴ふ追加豫事及ひ交付 たい意向で復活要求により設 たい意向で復活要求により設

陸軍側一億圓の

門時兩氏固織不

イタリー政府はさきに在変公使館の昇格問題に就き左の如く言明した。

昇格の意無

サイモン外相下院で言明

五日の下院で駐

を決定したが

を大使館に引

英政府としては目下のところ北平公使館

上る意間はない

るところあつた

満場一致可央

後任總裁决定時日を要せん

結局は川崎氏か

東京殿通』 藤軍省十年度役 の要求に對し大脈省は新規要 で、合計七一〇、三四〇 で、合計七一〇、三四〇 で、合計七一〇、三四〇 で、合計七一〇、三四〇 で、合計七一〇、三四〇

するものであるかとの質問あられて質疑臓容が行はれたが山崎農相より臨時利母税は永續

内主なるもの は外務省で独出のこと) は外務省で独出のこと) に対し外務省では一千萬 では一千萬 では一千萬

は左の如くである(単位千両) は左の如くである(単位千両) 経時部 一〇、六〇九 路時部 二七、三四〇 新規要求決職領 二七、三四〇

使臣よりの情報を総合すれば たり夫々帝國政府に對し照會 より夫々帝國政府に對し照會 とり夫々帝國政府に對し照會

松要上十一月十五日 並に最必要上十一月十五日 並に最必要上十一月十五日 並に最近二ヶ年間に於ける 石油輸入額度砂条の銀要線額調査 人額及ひその観要線額調査 とり石油統制問題に融するより石油統制問題に融するとり石油統制問題に融する

満洲事變後の北剱東部線ボ

を観察して

来たが寧古塔、江、東京城、寧

||三取後||に剛田首相より ||三取後||に剛田首相より ||古並に期間については六日の ||本に期間については六日の

石油統制を繞る

各國の抗議經過

外務省豫算

刋

(火)日六月

各省の復活要求 總額三億に達せん

から相當の復活要求を認めない。 を極めるであらうし、明年度 相常議論沸騰は免かれない虚 標井厳相の手腕力量に俟つ譯 であるが、離井厳相は高橋前 であるが、離井厳相は高橋前 であるが、離井厳相は高橋前 であるが、離井厳相は高橋前 であるが、離井厳相は高橋前 藏相の手腕が問題 らう。斯様な状態に在る質明 年度雅草案が開闢で最後的決 定を観るのは早くて大演習終 で直検遅れよば陸時調會召集 可直検遅れる咨省復活要求額は 三値間に達せんとして居る

豫算案の成行き注目さる

|| へいて || 公債は百億国の || 公債は百億国の || 公債は百億国の

日蘭會商

に六日會晚に决定、長間、ラー印訓が到着したので廣田外相 府の訓令に基き回答する事と告書の完全を期する信め、更 政府に精訓中であつたが五日 より支拂保證に對する本國政ゲルデレン兩氏會談の結果報 府の保護問題に闘しモスクワ 會見に於てはユレニエフ大使 に登見する事になつた、右 前途 布望無し

支拂保證につき

回訓を傳ふ

その日く

問

個の提案に對した

し全面的に回答 た結果に基きy

は可成り不満を懐いで居は可成り不満を懐いで居場にある。

ユ大使外

サンネフト開代表の會見は報告 中の作成選延とランネフト代 表の病類の爲め關印側より追 なつた、待報告書の提出に依 なった、待報告書の提出に依 なった、待報告書の提出に依 なので長間、ランネフト所代 表は一旦會見し親談の上夫々 本園政府に會調を繼續すべき や否やを請請する段取りであ るが、會議の前途は殆んど希 るが、會議の前途は殆んど希

古田書記官長の間で協議の結果召集日は十一月世七日、期間は七日間と云ふ事に内定、 村の早級を教る事となつた、 おつて十一月世七日召集奏 時の手級を教る事となつた、 おつて十一月世七日召集奏 時式を暴行、會期延長無き限 サ十二月五日閉院式が奉行さ れる事となる譯である

私的會談が預り 茶倉、晩餐食等 茶倉、晩餐食等 的會談句

行はる 代り午餐賞、日報関通」正式

高景は五日午後五時半着あじ 高景は五日午後五時半着あじ あで瞬宜した 歸京歸京

は招待されてゐる は招待されてゐる

商

七日間ご内定

優等清酒

A

日



豆に餓死は……といふ奴解禁、背に腹は……に非ず、 来懇雨論あるよ 岡力の 伸張は一年度累計公債百億四合豫想 日午後五時三十分萧大連 村少將C嗣東軍拳謀副員O 多調(清洲鰻多調府) 石氏(外交部大區) 事務官(北海特別區) 事務官(北海特別區) 年前九時設內市へ 午前九時設內市へ 午前九時設內市へ 年前九時設內市へ 年前九時設內市へ 年前九時設內市へ 年前九時設內市へ 年前九時設內市へ 年前九時設內市へ 日午前九時四十五分以代の日午前九時四十五分以代の日午前九時四十五分 時帯大連から大和政氏(官吏)同上 二十分藩奉天から大 氏(總務廳長)同

拓かれ行く関都 悪口せる道路艦設

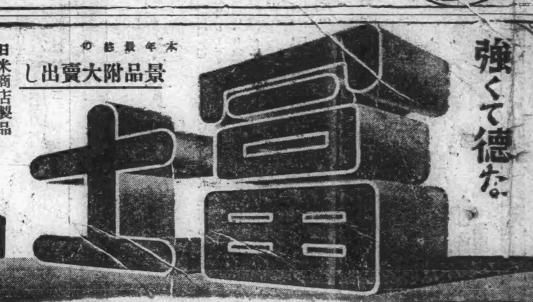
事往來

工費國幣廿一萬國の大建築で二日を以て親工せるもので總工せるもので總 病逸政府が満洲大豆の輸入を 第石川吟醸



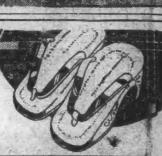
利用から! スピード 田華増進は 生活機線は ガブ 一秀なる自轉車の アップの時機

山逐布圖 目



へ買てし心安 4

物履級高·揃品



松田高會

電片記訪問外香

-年度末公債 百億圓台に接近 ・ 千五百萬圓、兵術改善養一千 ・ 野し大腋省は満州事變費一 に對し大腋省は満州事變費一 に對し大腋省は満州事變費一 一六千六百萬間に査定 単正式に復括要求を存 果正式に復括要求を存

職に乗り上げるに間は町田商相の拒絶により暗

一工り | これが解決までは免れないものと見られて居る。町田氏が推さんとして居るが、川崎兵は撤入外の現情が上に、大きの現情が、川崎県は、大きの外の現情が、川崎兵は、大きの外の現情があるが、川崎氏は、大きの外の現情があるが、川崎氏は、大きの人の現情がある。

公債漸減方針も何のその

致町田氏の出場を 町田忠治氏

上進賞な時機に川崎氏を後任でる限り町田氏は一種受諾のでる限り町田氏は一種受諾のとになり、その場合町田氏が

一世家合一 に換ては川崎氏へられるが、最後の決定は尚 へられるが、最後の決定は尚 ちの責任を全ふせんとする態機裁とする事を切札にして自

指名に男 民政 黨聯合會 五日午後開催

廳舍落成圖們稅關

韶書煥發を記念に

二、 淳卿「縣賞拳瞬試合」全 二巻

日室町校、十日西殿場校でいとなつてゐる
「内小學」校で
「内小學」校で
「内小學」校で
「内小學」校で
「内・純情佳話「藤なき唄」全 全一卷

公豆輸1

兩女流飛行家あす

| 単校を訪問、十時から講堂に | 日午前九時五十分新京高等女 高女で歓迎 ないて江部校長が生徒に国 長金井伊子さんが歓迎の舞 大されに對し同様が挨拶 なったは馬別様は六日都同 ンの輸入を許可するに至り、 除、今年度に於て約六十萬ト 除、今年度に於て約六十萬ト 除、今年度に於て約六十萬ト

洲大豆は獨強に市場を再獲

年記念日に

祝賀準備

新京署十月の犯罪

電話値下りで困る

思惑當籤者

三百

圓の納付金成績不良

類の下に全刑

百五十一件

窃盗犯が百十件で筆頭

北鐵ソ聯側が

就の襲米は諸農蜜物質の品今夏の獨遊内地における早

の何料の暴騰によつて長民 にして家畜の何箋を断念し 家畜を要放するのが激増し た、これがため家畜の價格 た、これがため家畜の價格 を生ずるに至つたのでやむ を生ずるに至つたのでやむ を生ずるに至つたのでやむ

今年度六十萬十 本では 本では 本では 本でする。なは のでする。なは のでする。ない のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 ので。 のです。 のです。 のです。 のです。 ので。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 ので。

ン輸入許可 右翼團体で

地方事務局を大連に っため今回全議委 学園一致國策の選 野成績を示してゐる。 なは管 という という という という は は 正 次 1 セント、 の 本 後 七 パーセント の 本 後 七 パーセント の 本 後 七 パーセント の 本 後 し 水 1 セント の 本 後 し か 1 と か

全滿愛國團体

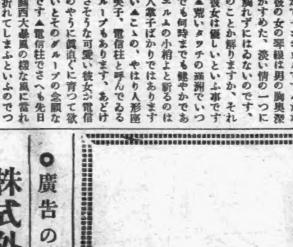
を組織

九五杏

シネコダックレ

六ミリ撮影機

獨逸政府が



ストマンコダツク會社

昌

型

(00ワット)

3



株式外交員募集 柳京射越屋高店 新京縣 四丁目十三香地 上来店アレ但シ市中ノ方ノ保護

鄭總理にメツセージ手交

事務所鐵道

週間成績

最高

大百五十四、最大百五十四、最

中の犯罪数を見ると設生百五 中の犯罪数を見ると設生百五 十一件で前月に比すると六件 一件を能頭に智能犯罪の横領 十九件、詐欺十件、傷害四件

有人百名の電話架設養寄附

取の人月から十月 のる、なほ第一期 の人月から十月

御 用命 11 電話三三○○番へ●

住宅向 貸家あり

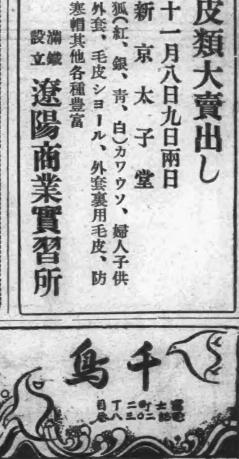
與安大路至〇二號 質大十四 西華中六種牧事場份 同

Zin en Ci



機长型下、3、5階

機 K型 75號 (760ワット)



10

念佛さ禮拜

精神作異週間を迎へ、修養園等で早起會を行ひ、十三日まで早起會を行ひ、十三日まで同上會を開催の豫定である。また同白百合會でも同週間にまた同白百合會でも同週間になった同白百合會でも同週間になった同日百合會でも同週間になった同日百合會でも同週間になった。

て宗教的な修養をなす關体、 道の一週間、精神作興御韶新京佛教園は七日から十三 克己朝起週 世は七日から十三日

けふの

銀場相

APE00日

使原第一

宇佐美前顧問

太平洋航空路

場日

毛皮類大賣出し

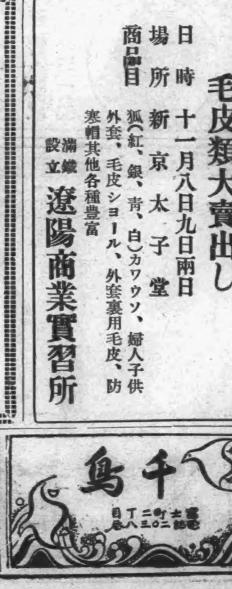
十一月八日九日兩日

時町大正寺で告別式を執行の 一女洋子さん(六つ)は四日 一女洋子さん(六つ)は四日 歌京補習學校教諭小林藩氏の 歌京補習學校教諭小林藩氏の

評論家である輸田民蔵氏は脳の東京護通し軽済學者であり 櫛田民蔵氏逝く

滋血で入院中のところ五日夜 滋に死去した、享年五十四歳 味ながら經濟評論に論陣を張 記事訂正三日附朝刊第七 **地 歳 夜 III**

面所報発布所外交員にあらざ 有人職工にて外交員にあらざ る由につき訂正



柱に散つた同胞の 死を求め

営口號匪襲の犠牲岩永屬

克両北方十五里の地数におい ・ の投資され翌十五日賞縣億

吉林省葬で葬らる

中ばに惜しくも順手! 中ばに惜しくも順手! 負ひ悲惨な死の面には後頭部には何れる質通銃劇を

(六)

・ を地下の英雄への感謝でなける美質に對して何を能ひられやら、東洋樂土の建設ことができます。

大連四

宇佐美氏歸國 其の後 人殺し

盛大な見送りを受け

れてあるやう

夫人死去

心株日本産業株は、日本業業のに合物館の決定を整へて更らに注目をらる。だ相場は、意々、上?下?株乗十字梅頭のゴーストップは如何に韓間すると培教練派は、臨時間の副電電布力不信任にまで重んで、維技げの副藩を頼る

きす

3

た







二 日(金) 三 日(祭) 四 日(日)

十 日(土)

建國の人柱と散つた人々の残に服る英重を慰めつよ又満洲各地に 所名の三君は途中満洲各地に がる日清、日間所役の古殿場 に眠る英重を慰めつよ又満洲 に眠る英重を慰めつよ又満洲

英靈と皇軍を慰

送聽

収受開始につ

由を大の如く破喪した別には「一月からラザ間船と同時に十一月からラザ間船と同時に十一月からラザ間船と同時に十一月からラザ

電々會社放送課から

斯京説町二丁目

0

告

通稱 古でん事

九、三〇 養職(レコード)人、四五 天氣實况 (単原より) 10、00 特別献金 (東京より) (東京より)

人に急生

在

白

人 會

在新京

话的 白酒

吉田英雄 今弊店とは何 社 中型三分計 1 图 3 0 個

弊所直扱石炭及其他營業品へ爾今國際 外所直扱石炭及其他營業品へ爾今國際

シ際

明和九年十一月一日
上精々御利用下サレ度此段謹告仕候弊店ニ於テ取扱フ事ト相成候間御了承弊店ニ於テ取扱フ事ト相成候間御了承 南满洲鐵道株式會社新京販賣事務所調內大學(所要)

后 悪 氣

記話はとれるあ

自都新京に内地各都市に於て 清水貿易で設置 清水貿易で設置

赤軍兵士の

七日(木曜) 寂京 中前の部 中前の部 (東京より)

八、四五 図 ・ ロカルニ

貸會社

吉

教育者有名二一

場所南新京署で 電話五九八八番へ ま」譲る

は本月十日迄です當社を御利用下さい手軽く御融通致します 新京土地建物會社 公認 電話 用達 部 架設料拂込

第二期電話 急急

御問合せは南嶺目拔の場所洋服店居拔の

安急讓

待申して居ります

東一條通 東一條通 東一條通 東一條通 東一條通

催

X XXX

大奉

仕

會

劵

金

貢

圓

野語座 才 ク F テ

ね (千代之春 二合瓶詰) 7 (スカーレット) ば テ 損 御土産 洋 食 = 四 100

À 箱木 呈

中一月五甲三日間(後五時より) 第2930

鶏の水だきは神像 泉流流

カフェー界の王座天地

您廿九日

V)

開

店

店 御 披

輸入課稅減稅さる

大連上海向

原原原田田田

た。本典的一人大工

百在山

職工人夫賃昻騰

類を調査局でも

氷期を控へその質金は異常な に接し各職工の引揚げ及ひ結

輸移出高

とする木材 とする木材 とする木材

★大連金鈔票 十四日限 廿八日限

▲上海紐育向

19個八招+連稿來月京新

万洋豐和 ## -3t3 · ○000: 8 M4

株新京射越屋

新京市况

「客人」と、また後の野が陰を

ときた、網コ

者がの

ちりかい

秩:

てるる堤を、十た十たと歩いて

密特 董現

東京 10°00 大東 10°00 大東 10°00 大東 大小公立 一市 10°00 大東 大小東 10°00 大東 10°0

変人と呼ばれたのは、就致の他」でありた。映学の山奥に、一人で湖してつた。映学の山奥に、一人で湖してつた。映学の山奥に、一人で湖してのたーと目に贈りたいと思つたばったりに、この調だ。一人で湖してのた大時太は、緑門の上州路にあったがののつき合を取し込んだのが、にののつき合を取し込んだのが、にののつき合を取し込んだのが、に

「記貴派にお願い申

しやす。」

堪らなくなつ

特数指

が、難しく攻め寄つ

イ歌の四つの目

「宿一阪の仁学

野で、遊

げを打つのちゃござん

ではい目先に、たった一人のお袋

110、40 二九金

んす。 一覧

機算二億四百三十萬圓に達す る、これを前年度に比較する と約二倍の増加で品質優良、 と約二倍の増加で品質優良、

▲上海日本向 115000

荷馬車一頭曳 …

000

二億四百余萬圓に達す

かける出貨強額は次の如く見 られる、即ち前月迄の管内に りれる、即ち前月迄の管内出 りれる、即ち前月迄の管内出 りままれ新京土建界の活躍と圏 に入つても餘量さめず構内の に入つても餘量さめず構内の

本格的採煖用品の需要期に

荷動き旺盛

新京鐵路局管內

作置糸輸出 新京に聯合

在貨は月初めに於て約四千キ

木五十車を強和され趾線奥地震なれる。一方像線状況を機想される。一方像線状児の趾線向新

鮮銀券の満洲 割方を増 流通

資本會社設立の認可で

大り へるもので各方面から注観さ 同様優勝なる荷動きを見るべい つて関査を進める事となつた 擁して一日約一千キロの荷動きた成の鴟は權度局 きが期待されて居る、又教化して フリオでとし、四十七都市に亘 ロ内外なるも院内在貨多数を

示し鮮農は何れも田

出廻旺盛 廻り一日平の松徳ので河 三軒まで

遼河沿岸稻作 ● 阪神日米 「湯売」公子

各地市場

(無上級)

行友李風階作

行くところだつたっ

その間になった。

后es

111500 111500 111500

た身で、何を好んで

やくちに被

配つきとした概

本の仲に生れ

ちる耐れがあつた中

でちらついて見える。……でちらついて見える。……でちらついて見える。……ないのが風だけが原目い。

は、か即られる外配 へばそれまでだが、

もねえると云

既ケーにも

見附かつも

點兎角

お客様方へ御禰足申上る事出手狹の爲め何にも彼も不自由

得ませず拔

作

の多々

有

?

事を

日本人

泣いてゐたのだ。

能つてるな

ら云つて歌く

飲って、 励をこまれいた優、 戯っぱれた男は、 返寄をしなかつた。 時々煌つく。竹倉を削いた男が でござんすから秩父の三太の館 そのすずうにの

この強、つつ地 うて、お気い

んに選ば

50 大阪商船出机 合ひ用苦多し萬事注意

本付き

日の ひ正

大吉日華

R

の良

龍宮城陣容全

※印三三等船を設備船 ※印三三等船を設備船 ※印三三等船を設備船 (年前十時大連出机) 土地、家屋、賃貸借 一 新京土地建物會社 新京土地建物會社

あんま 男女員多数領一機大衛 至急御信敬します 一陽堂寮院

で當分

の桁

と云

初

の程お

ます ずれ

批い評か

り度尚新築落成御披露

かなサ

F.

振り

1:

新進女軍

連の眞劍に背水

何事も急がす憲 住宅

0

静な地點を

落成致し

(#1

装

6

粋と

敷奇を

今夏新

京特別市

地名も

~

\$

す

●五寅の人 多少の無理は通る億く迄敷心努力するが吉を上る骨折はあれど平地は目前に迫る 已と丁と辛が吉と丁と辛が吉 家屋 土地

質点を備めし事 年皇帝 中選水暖房完備 姓名在社 一



(本館前入悉代 () 連

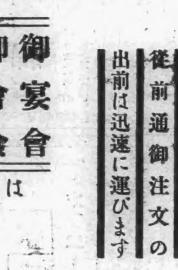
京山 加强 流管B安营 祝町子日中四 博多屋

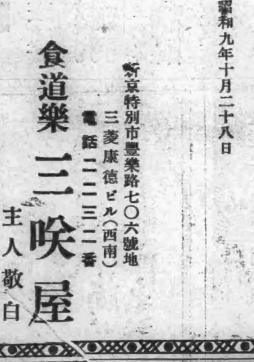
電視器がは関いている。









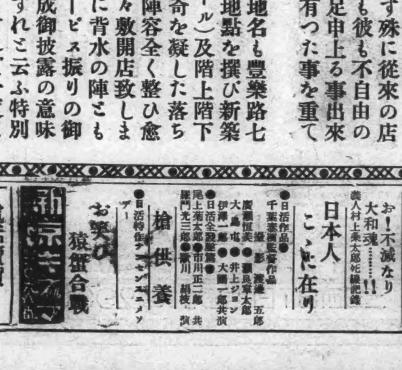


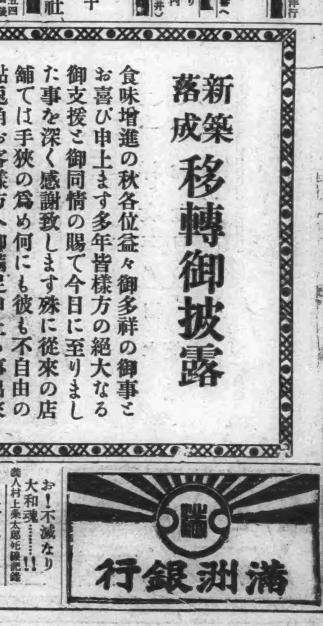




御利用願ひますが







岡田三九生

財政部理事官 伊藤 地 財政部理事官 伊藤 地 財政部總務司動務 9 命 不 財政部等總務司動務 9 命 不 財政部等總務司動務 9 命 不 財政部等務官 唐 八田 八吉 財政部等務官 農山 東兵衛制 財政部等務官 農山 東兵衛制 財政部等務官 農山 東兵衛制 財政部等務官 農山 東山 東兵衛 楊八級俸 (各通)

自は、上等符合所の中に大

活躍を待つ

から

蒙古貿易の要衝地多倫合

ニウム梯子の流行 ニウム梯子の流行 の梯子が流行し出した、同型 の林子が流行し出した、同型 を顕建築界の新趣向 英國建築界の新趣向 英國建築界の新趣向 を調線を這はして壁紙を張り電 ないるので非常に好評 を顕建築界の新趣を 造り始めたが失火に備べる為 完全な絶縁装置をしてあると

央國產業視察團

果を顧み

英國は傳統的產業帝國=

第四區 治王鄉、二道窪鄉、舞三區 水泉溝鄉、 告詳鄉、

| である | (本) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) | (***) |

二度强で満蟻沿線の鐵鎖位の 方支里で欒河の支流に闖まれ てゐる、緯度から云ふと四十 てゐる、緯度から云ふと四十

に至って、それが竣工してから、

京部職十七マイル四分の三の線路 大切に持つてきてゐた際中時計

職余り惠まれた土地とは 職余り惠まれた土地とは での内で気候不順であり を関する。三ヶ月が春秋 で気候不順であり

多倫地方の概貌
を参倫縣は内蒙古察哈爾省南部
に於ける東西百四十支里、南
北八十五支里、總面積約一萬
二千方支里、滿洲國とは東に
於て関場縣、南に於て鹽寧縣
を接する東北より西南に長い
と接する東北より西南に長い

時の 就 断(四)時の 就 断(四)時の 就 断(四) 治三年三月のことも 温線路の工事に着る

●が機成して、汽車の運転を開始 をの大月、大阪網戸間の軟銀工 をの大月、大阪網戸間の軟銀工 をの大月、大阪網戸間の軟銀工

行してゐる新聞で 「有難う、結構で かて無見した。 す。私の社で配

若いと言って 新聞紙を受取つ 新聞紙を受取つ

た年配、徐ろに

め先生の御名前



頁八共刊夕紙本

酸行所

新聞社

吉川商會

京日 日本

様甲板

人人 大超內之介

雅門に







軍縮會議と

康德元年度第二郡備金支

新制度省公 者の三省に 食業、教育廳

瓦

和協方式が見出されるか否かにとり終も重大な時で何等かにとり終も重大な時で何等かにとり終め重大な時で何等か

・ られ目下縞洲図へ招聘の交渉 ある、 億五日の 國務會議に於 ては 國營軍犬育成所と併行し ては 国營軍犬育成所と併行し 金中より一萬國が支出され

【東京関連】一昨年の一月以解散か この疑惑で 新官僚母體 繊維會近く

各方面

反對

商標出願

りである りである 一五二 五二 五二 五二

れた十月中 開へ出脚さ

は来る十五日酸やされる定期 は来る十五日酸やされる定期 ることとなった

使の母性なりとの疑があるの 大野等を含んでゐたので新官 大野等を含んでゐたので新官 陽明學者安岡正篤氏を中心と來宗教及國家研究を目的とし 清天國

スーセス五

補扶桑臘長 岩村清一

民に大巻威を興へて居るさばかれた結果と見られ、優

東邊道工作

和軍大佐 田結 標本電光性

依蘭旗族

から

史蹟保存陳情

来九十日間各地に轉載、其間 別治安工作に去る九月出動以 大る距賊掃蕩の爲め東邊道特 大る距域掃蕩の爲の東邊道特

ゴロムビア洋樂傑作集第一九三編

へ凱旋

豫約募集(期間十一月九日下

找野部除奉天

發

副官異動 海軍省先任

なは軍令部副官も左の通り更 される事となつた 軍令部出仕 海軍大佐 伍賀啓大郎

補軍令部副官 代谷青志

族代表旗人趙漢章氏は五日午

水、高祖登畔の地たる由緒あ 京は佐副地方史籍の保存、治 京は佐副地方史籍の保存、治 後二時半齋飛行機にて來哈。

こととり属めである、尚同代る同地の復興に関し皇帝陛下 名のない犠牲者を出したが、よく任務を達成東邊道の傭正よく任務を達成東邊道の傭正を終へた淺野部隊は幾多の殊を終へた淺野部隊は幾多の殊の

朝太祖時代よりの古き歴史高祖發祥の地たる三姓は清 ▲橋口勇九郎氏(新京特別市 維務處長)赴浦中のところ の確定 事往來

豫約メ切期日十一月九日迄に至急弊店へ御申込み下さい此の好機を逃せず

コロムピア特約店

日

信洋

信洋行

りました。「第六番」館も田職交響=の新総が怠々コロムピア會社から観異されることにな深い「第六番」館も田職交響=の新総が怠々コロムピア會社から観異されることになべ1トーダエンの交響機全九曲の中特に美しく接しくそして何方様にも親しみの最も

發賣日 愈々來る十一月十二日頃

十二吋青盤全五枚特製アルバム入金十五国也ポールバレー指揮コンセルコロンヌ交響樂園

ヘートーヴェン
交響曲へ長調全曲

65 E

無理な注文はな 操調、これほど はながる機識を推

新東外線線振龍 中 谷 時 計 信 ・火・ 新 東 火・ 大・

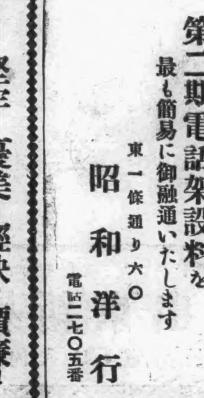
注目される首に

作滅相の裁斷

路

當 y) 地 心醉

第二期電話架設料を 最も簡易に御融通い 東一條題り六〇 します 行



目下外務省で聲明案考究中 我が方針愈よ斷乎

兩條約廢棄は 手續きあり次第審議可决

地のるなら母祝不要との見解 といるなら母祝不要との見解 といるなら母祝不要との見解 といるなら母祝不要との範疇に といるなら母祝不要との見解

断は極めて注目されてゐる 動の岡田首相や應井蔵相の敷 動の岡田首相や應井蔵相の敷

を選げ相互に資料を提供して 多大の和棚を取め、双方の法 類脳社のほといふ一致せる大 目的に向つて協力逃避すべき ともませてます。

を申合せて散音した

輸入で

穀類下落を

ずまた三姓は三方河に属まずるもので、同地一帶に清朝、明朝時代の史蹟少から

設達を阻害し住民の他に移れ常に水災を被り踏廃業の

辿る

上海米の見越

【東京関通】政府は崇府條約 に實意を取る事となつてあるが 機管を取る事となつてあるが 機管を取る事となつてあるが 機管を取る事となつてあるが を式に説明を聴取しその方針 公式に説明を聴取しその方針 行場を設徳してゐるとの構造 野は飛行場設置の報道につき間が出で委員長デオドリー公かあるが、信髪如何等との質 一切取り除くのが最善の方外人旅行者に對する制限を 外人旅行者に對する制限を 関る酸重な監視を受けると 多い、本國政府に照合して斯る報道には故意の抱造が

豫算復活要求

億四千萬圓に上

新 新 新 看 看

三三七、六〇〇 日帯監制者と召集合、改夏都三、八〇〇 午後三時より五時まで同所に

帝に舞闘、変上するもので といり、 として上京、皇 会の他代表として上京、皇 会の他代表として上京、皇

されぬとか同群鳥訪問を許

統治領委員會

南洋統治領 問題
こなる

(日

お面の税職に配置せるを動け に近く観響の軍犬育成所を被 をとになつた、右指導者と ることになつた、右指導者と 復活要求は二億四千萬間に上 に東京側通』各省復活要求は でに判断せる

ペツュネーヴ五日設園通一常 中後に亘り非公開會議を報行 中後に亘り非公開會議を報行 本政府の年文報告書を審職し たが、特に日本政府が南洋群 たが、特に日本政府が南洋群

開設を機に安東戒煙所

口炭液化事業

强力なる委員會を設置

ある、又一方五全大會を目 に整へ蔣介石氏は表面西南

犠牲として 汪行政院長を

蔣氏對西南

工作を進む

【安東側通】拳天政機所安東 打合會

ある」との決意は職家代表 るも、その職職は一時的で るも、その職職は一時的で

我が兩全權

官民協議會

月月日日 雅 天 入出入出 瀬 義 西の 田 報 後 前 後 前 後 前 最 面の 田 報 日 六 四 時 二 六 時

自 堅牢 優美=輕快=價廉! 確實なる修理安全に 同和商會支店 **现**町二丁目太子
気情 日本機通りに支店を 日本機通りに支店を 同

智識の交換

書館の今度の催しに感謝し

館の各位に製諭する 館の各位に製諭する

會美學

(中央通、新京神社前)の機 すたよろこばしい催しの一つ 十一月二日三日の清娥興書館 中央通、新京入にとつて最も有電姜な

火同家は支那式パラック雄の 城子大和食堂電駒井方より出 が一大和食堂電駒井方より出

寬城子國防婦人

爲見る々々隣家に延緯級ち二

動し選も差別なき取扱に彼等

具道帶世ミ 位本質品賣廉品良

生花用 家 營 業 和洋各種タンス、 原敷机、事務机、 を が、本務机、 家庭金輪類硝子器其餘 品目

富

御用命は11

W十五名の審査委員が集つて 神解長、高橋郷便局長、その 学科司長、江部女巫校長、高

博丸地方委員、上村

羽衣町二丁目二百六十六號

(三)

備不完全の實情に鑑み大陸左

春響祭職保安料では火災酸

首都警察が煙突取締り

房間実等の設

七百五十三軒ストープの修繕 と云ふ多数を示してるる と云ふ多数を示してるる

政府では満州間を世界に認識 行は近く来消するが、満州國

新京署へ御用

阿片密賣の

决定

火災の豫防

一行歸京

第十五回赤十字同版曾顕に出赤十字社で開催された晴れの東京日本

方法及ひ日程の作成に大重とこの関係補州機関祭園の歓迎

満官民参敷参列の上級大な調 三日明治師の住師を卜して日

目下日本外務省で斡旋中

なつてゐる

開終

的数の就実を襲つた

四平街圖書館

代表二百五十三名の中新興箱

派遣所

佳木斯に警察

三等 進む文化に後れぬ讀書

勝などの標語にも二、三個入 師町一丁目二番地宍戸愛子 師町一丁目二番地宍戸愛子

等當選の圖書館標語

市の西南陽に西で東北へ曲つの中頃、竹路河で東北へ曲つで大松河を観で吉林

を開催、専任委員販谷夫長よ六日午後二時より定例委員會

が都邊警察碌頭査に使れば管 密するもの日に日に撤増する 関するもの日に日に撤増する

東京関連)来明中のアメリ東京関連)来明中のアメリカ山合に轉載十、十一のより仙台に轉載十、十一のより仙台に轉載十、十一のより仙台に轉載十、十一のより仙台に轉載十、十一のより仙台に轉載十、十一のより仙台に

本三を 構態氏永樂町から興安 本大高学太郎氏常線町から不安町ー丁目一番地へ 本北崎永利氏敷島寮から新優 北崎永利氏敷島寮から新優

本紙勝贖御申込みは

一川二〇〇巻へ

各國赤十字代表

近く満洲

用として申分がない関車で

委員會開催

歸國激增

山東苦力の

米職業野球團

れた新京

り 超大なる 敷迎を受け赴日の 気時三十分着アジアで 時任し

出席し事務報告を貸したりは組織、社會、経理各科長につき説明審議し事務局側よ

居萬口

一千七百四十九名を算して曜由のもの十月中で既に一

長以下百餘名は四日突如兵變駐屯の朱哲元部隊の胡寶山連

梅枝日三日 周三南

番地へ

逃走

兵變を起し

め讀書

きのふ入選者決定

に明瞭となるであらう に明瞭となるであらう に明瞭となるであらう

井物業造船部に入つたが、後 特して日本電力株式會社土木 部技師に就任、大正十三年歌 米に出張して水利電氣工事方 面を觀察すること一箇年にし て勝切、引載き日本電力に動 務中、明和七年二月園都建設 新中、明和七年二月園都建設

新京吉林を繋ぐ

ある

性想的國道完成す

全長質に百八

キロ幅員と

開通式は明春

擧行

宋哲元部隊

々木副領事語る

特別市工務處長に

武藤氏が榮轉

市公署の久しい懸案解决

へきものがあり今回の榮轉と 制並に下水網の計畫およひこ れが質進に當つて功勢の見る

設局土木科長の後任は需分近の手腕家である。なほ國都建

朝鮮人民會では本年六月

きに一旦る瀆 朝鮮人居留民會に渡るべき金が 帳簿から消

に亘つて外務省から補助される民會事務費を横領着服してゐた瀆職事件が連新京朝鮮人居留民會の不正事件から端なくも新京總領事館朝鮮係員が長期間 鎖的に暴露されるにいたつた

ねてゐたが八月遂に前會員金以來民會理事問題で紛糾を重 不正事件は 事實ある

月 れた總領事館の帳簿を對照し 一切を大使館に移し嗣館の極着で同係では直に大使館に報告 協議をなしたが、使途不明金を四月までの間の補助金が合 新京織領事館署が採知するとを四月までの間の補助金が合 新京織領事館署が採知するとを四月までの間の補助金が合 新京織領事館署が採知すると ころとなり同署では高山署長 で同係では直に大使館に報告 協議をなしたが、使途不明金 するとともに同事件を構秘に 額は莫大と見られてゐるを 三

三、爆突と建物との接觸点は 不燃質物を以つて被関する こと 煙突は丁字型取付轉下設

首都警察廳 火災避讓施設

正しく危険で首都警察廳は至った 管都警察廳では消防署と協力 とて高層建築物の避譲施設の は無必譲り、非常口階段施設 を一斉調査なさせしめた が況を一斉調査なさせしめた が況を一斉調査なさせしめた

審案工事を急ぎつゝあつた新 テルで歌迎晩餐會を催すはず | 金支 設て二十萬側の工饗を以て今 して八日午後六時から大和本 | 俳金 が一京答言案/所落/成 | 行家松木、馬癇陋様を主賓と | 對し 消費組合

に失せる

廉升一等軍艦に削添はれて 減兵は大日午後叫時酸列車で 減兵は大日午後叫時酸列車で 内地へ凱旋

以下廿三名

浦方電工長

金特別市長 兩嬢を招待 公皮

し五日 関係 と では、 一本 では、 「本 では、 一本 では、 「本 では、 一本 では、 「本 では、 「本

中より七千五百圓の補助

亘るソ聯革命十七周年肥念號ワオストタ紙は六日三十頁に

郡の内治外交經濟の跳

過去十七年間に於

百キロ放送開始サル

和登洋行無線電氣部

【ハルピン園通】北端に於け

代替祭器三その出十数名列席

ラデオ電氣蓄音機の御用は

城內阪費店

電話五六〇九番新京ダイヤ街院)

ラヂオの質用化!!

満電ラヂオ聯指定。店

七歐無線電氣商會務與代理店

革命記念日を繞り尖鋭化す

赤ど白對立

べく目下具体的計量を進めつ ので近く越大な祝賀會を催す ので近く越大な祝賀會を催す べき

趣物として千畝迄も残す 及ひ六角堂は補洲國の國大國通』山監験の天下第 なり組合員に華々しくデビュ落成、來月早々開業の鑑ひと

残すべく

第一開大修理

内から阿片一千個を設見押取

プランスホテル は房水道浴場設備完 は 本 間 洋 室 日 本 間

¥ 150ga # 15.00a T

セフイン

セーラインキ マーニン

定金榮服(四五)で阿片を密

図實と

た暴動不審の明鮮人が通行し

せず、此の秋、在補機構統遇指すべきは敗て喋々を要

貨

に関する削額は低に決

二日左記を決議して関係各方 聯合會決議 愛國團体奉天

間家植物員以て離局打關に現下内外の重大時間に催み

着望ノガハ來談 新望ノガハ來談 新望ノガハ來談

日本一の製産高

レラカ

西山軍筆專門

新京を中心 諸外國人入滿者減少

本年も既に結氷期に入り諸外 国の観察闘其の他節行者も日 とする外國人の来往者南行者 は一千百十七名北行者一千五 名で九月中に比較すると南行 名の減少である、因に之を國 支那隣化(元ロシャ)

英國 五八 五八 百三名北行者四百三十八名で 以上其他路外國人の南行者五 六三 七四 也二 心迎茶會開催

日浦婦人舎敷舎會の下に盛大時半から谷等事官邸に開催。 はれ午後四時過ぎ散會し

本、馬淵兩鑲

同フアシスト開體は喪服を

會就質會を催す一方白系露人中心に北鐵沿線各所で購損大

光る人格

再排微物于

常野郷天、ヘルピン、チチハル 電野郷大七三、五九五一

歌京郷町二丁目二四

御家庭向に樽

モ有りマス

養田治兵衛

れざる雨者は鋭角的對立關係 演説會を開き更にラヂオを通講師は市内各所でソ聯攻撃の

寬城子警戒

六日、七日、八日の三日間は ツヴェートロシャの革命第十 地周記念日に相當するので北 繊從事員において萬一の場合 を考慮し首都警修廳特務外事 を考慮し首都警修廳特務外事

住消息

居

知識の泉は讀響にあり E

「興奮館は市民の學校」 等 一日一分一頁 四平特四係格三二 旗馬電三三〇〇塔

司

勉

御 寄 內 宴 會 町一丁目笠 赤玉カフェー 入元なべよし

電話二



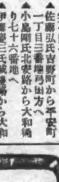












町十八番地松龍ビル三十四 ◆坂本幸三氏三・町から老松 胡同百十七番地へ お同百十七番地へ

▲北門一雄氏常艫町から敷島



数本十三百二千世级

(日 中 水)

間新日日京新

日七月一十年九四日

、(可認物便郵禮三第))

